

2026 年 2 月 13 日

各位

東京建物株式会社

## 世界の異彩が集うヘラルボニーの国際アートアワード 東京建物がプラチナパートナーとして協賛

「HERALBONY Art Prize 2026 Presented by 東京建物 | Brillia」

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 小澤 克人、以下「東京建物」）は、株式会社ヘラルボニー（本社：岩手県盛岡市、代表取締役 Co-CEO 松田崇弥／松田文登、以下「ヘラルボニー」）が主催する、障害のあるアーティストたちの輝かしい才能を称える場としての国際アートアワード「HERALBONY Art Prize 2026 Presented by 東京建物 | Brillia」にプラチナパートナーとして協賛することをお知らせします。東京建物としての HERALBONY Art Prize への協賛は、2024 年から続き 3 回目となります。



HERALBONY Art Prize は、「限界はない。障壁を越え、創造性を解き放て！」をテーマに掲げ、障害のあるアーティストたちの輝かしい才能を称える国際的なアートプライズとして、2024 年に設立されました。2024 年と 2025 年は延べ 4,500 点を超える応募が 72 の国と地域から寄せられ、年齢や国籍を問わず、世界中から多様な表現が集まりました。3 回目の開催となった今回は 77 の国と地域から 1,342 名のアーティスト、総数 2,943 点の作品応募が寄せられております。

本アワードおよび受賞作品の展示の詳細については特設サイトをご参照ください。

特設サイト：<https://artprize.herlalbony.jp/>

## ● 東京建物による協賛の背景

東京建物は、「まちづくり」とは単に建物をつくることではなく、人々の暮らしや営みを豊かにし、誰もが健やかに過ごせる場を創り出すことだと考えています。マンションやオフィスのみならず、商業施設、ホテル、公園など、多様な方々が行き交う場の開発・運営を通じて、幅広い世代・属性の人々が安心して集い、交流できるまちづくりを推進してきました。こうした事業を進める上で、多様性を尊重し、DE&Iを実現していくことは欠かせない重要なテーマです。

ヘラルボニーは、HERALBONY Art Prize を通じて、応募者を“障害者”としてではなく、一人のアーティストとして才能そのものが公平に評価され、さらなる活躍の機会につながることを強く願っています。作品の力を通じて社会の既成概念を超え、多様な表現と価値が輝く未来を拓くというヘラルボニーの取り組みは、東京建物が目指すまちづくりの方向性と深く通じるものがあります。

東京建物は、ヘラルボニーのこうした思いと姿勢に強く共感し、多様な個性や才能を尊重し合える社会の実現に向けてともに歩んでいきたいという考えから、HERALBONY Art Prize ヘプラチナパートナーとして協賛しています。

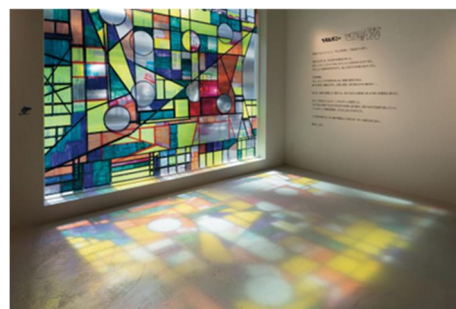
### これまでの東京建物とヘラルボニーのコラボレーションについて

東京建物とヘラルボニーの共創のはじまりは 2021 年に遡ります。東京建物が東京・京橋に開設したアートギャラリー「BAG-Brillia Art Gallery-」のオープニング企画として、ヘラルボニーにとって東京初となる展覧会「ヘラルボニー／ゼロからはじまる」を開催したことが、両社の関係の出発点となりました。

それに続く BAG での展覧会「ヘラルボニー／異彩のみらい」のほか、2022 年 6 月に長野県長野市のショッピングモール「アゲイン」（2022 年閉館、現・Brillia 長野北石堂 ALPHA RESIDENCIA 建設地）で開催された展覧会「BAG-Brillia Art Gallery- in Nagano」においてもヘラルボニー作品を中心に展示するなど、複数の展覧会でコラボレーションを重ねてまいりました。

展示会以外では、マンション建設現場の仮囲いにアートをプリント展示し、展示作品をトートバッグに転化して販売したほか、東京建物とヘラルボニーとのコラボレーションによるインテリアアイテムの制作、開発したマンションの共用部でのアート展示、空港や百貨店におけるアートピアノの展示等も行ってきました。

直近では、東京建物がメジャーパートナーを務め、約 1.5 万人のランナーが東京のまちを駆け抜けた「東京レガシーハーフマラソン 2025」において、日本橋折り返し点「“YNK” TURNING POINT」に設置されたタワーに「HERALBONY Art Prize 2025 Presented by 東京建物 | Brillia」で企業賞「東京建物 | Brillia 賞」を受賞したアマダ・アンジェラ・ソエノコ氏による作品「The Mystic's Dreams（神秘主義者の夢）」をデザインとして起用するなど、アートとスポーツを融合させた取り組みにも挑戦しています。



BAG 企画展：「ゼロからはじまる」



マンション建設現場の仮囲いアート



東京レガシーハーフマラソン

「“YNK” TURNING POINT」

※ コラボレーション事例詳細（一部）

BAG「ヘラルボニー/ゼロからはじまる」展：

<https://www.brillia-art.com/bag/kyobashi/exhibition/01.html>

Brillia Art Piano の取り組み：[https://www.brillia-art.com/art\\_works/piano/index.html](https://www.brillia-art.com/art_works/piano/index.html)

東京建物の「まちづくり」×「スポーツ」×「アート」で生まれるまちの魅力とウェルビーイング：

<https://tatemono.com/doforsustainability/dfs/post35.html>

## ● 「HERALBONY Art Prize 2026 Presented by 東京建物 | Brillia」概要

「限界はない。障壁を越え、創造性を解き放て！」をテーマに掲げ、2025 年 8 月 18 日から 11 月 2 日の期間、特設サイトにて応募作品を募集し、77 の国と地域から 1,342 名のアーティスト、総数 2,943 点の作品応募が寄せられました。グランプリ作品をはじめとする受賞作品は、2026 年 5 月 30 日から 6 月 27 日まで、東京・丸の内の SMBC アースガーデンに展示される予定です。

障害のある方々の創造性が社会に与える影響力を持続的に高めていくと共に、唯一無二の表現を多くの観客に届け、アーティストたちの長期的な成長と活躍を後押しする場を開拓してまいります。

### 主催者コメント

ヘラルボニー 共同代表 松田 崇弥氏、松田 文登氏

HERALBONY Art Prize では、企業を単なる支援者としてではなく、作家の挑戦と未来に向き合い、共に次の可能性を育んでいく存在として位置づけ、「Partner」という呼称を用いています。また、パートナー企業が選出する「企業賞」を設けており、受賞作品は企業とのコラボレーションを通じて、社会へと広がる機会を創出してきました。企業賞の受賞に伴う授賞式への参加や、企業との共創イベントへの登壇などの機会を通して、「初めてスーツを着た」「初めて飛行機に乗った」「初めて日本を訪れた」といった体験が、作家の表現をひらき、次の作品へとつながっていく数多くの物語が生まれています。

HERALBONY Art Prize は、パートナー企業の皆様とともに、そうした一つひとつの体験が未来の創作へと結実していく場を、これからも育んでまいります。



### パートナー企業

PLATINUM PARTNER	東京建物株式会社
GOLD PARTNERS	株式会社三井住友フィナンシャルグループ、西村あさひ法律事務所・外国法共同事業、株式会社ジンズ、セイコーエプソン株式会社、株式会社サンゲツ、貝印株式会社、東日本旅客鉄道株式会社
SILVER PARTNERS	株式会社乃村工藝社、株式会社パイロットコーポレーション、アビームコンサルティング株式会社、株式会社 LIXIL
MEDIA PARTNERS	株式会社ヒット、株式会社ハースト婦人画報社、株式会社ニッポン放送、株式会社ニューステクノロジー
PR/EVENT PARTNER	株式会社サニーサイドアップ

※ 2026 年 2 月 13 日時点

## ● ヘラルボニーについて

「異彩を、放て。」をミッションに、障害のイメージ変容と福祉を起点に新たな文化の創出を目指すクリエイティブカンパニーです。障害のある作家が描く 2,000 点以上のアート作品を IP ライセンスとして管理し、正当なロイヤリティを支払うことで持続可能なビジネスモデルを構築しました。ライフスタイルブランド「HERALBONY」の運営をはじめ、企業との共創やクリエイティブを通じた企画・プロデュース、社員研修プログラムを提供するほか、国際アートアワード「HERALBONY Art Prize」の主催など、アートを軸に多角的な事業を展開しています。2024 年 9 月に海外初の子会社としてフランス・パリに「HERALBONY EUROPE」を設立しました。

コーポレートサイト：<https://www.heralbony.jp>

オンラインストア：<https://store.heralbony.jp/>

## ● 東京建物について

東京建物は、1896（明治 29）年に安田財閥の創始者、安田善次郎が創業した日本で最も歴史ある総合不動産会社で、本年 10 月に創業 130 周年を迎えます。現在、2030 年を見据えた長期ビジョン「次世代デベロッパーへ」を掲げ、事業を通じて「社会課題の解決」と「企業としての成長」をより高い次元で両立することで、すべてのステークホルダーにとっての「いい会社」の実現を目指しています。そして、まちづくりにおいては、まちの歴史や文化、環境と調和し、そのまちにかかわる人びとやパートナーとともに持続的な成長を目指していく「サステナブルなまちづくり」という考えのもと、デベロッパーとしての幅広い事業を通じて様々な取り組みを行っています。

コーポレートサイト：<https://tatemono.com/>

公式 X：[https://x.com/ttk\\_dfs](https://x.com/ttk_dfs)（DO for Sustainability. with 東京建物）

## ● Brillia について

Brillia は、東京建物が展開するマンションブランドです。その時代にふさわしい「洗練」と「安心」を追い求め、住まいと暮らしを通じて、お客様一人ひとりに「自分らしい豊かさ」＝「NEW LUXURY」を提供しています。建物の企画・製造・販売だけでなく、管理・仲介（売買・賃貸）など、東京建物グループの多彩なサービスにより、みなさまの価値あるライフスタイルの実現をお手伝いします。

公式サイト：<https://brillia.com/>

公式 Instagram：<https://www.instagram.com/brillia.official/>

公式 X：[https://x.com/Brillia\\_info](https://x.com/Brillia_info)

以上